



E(i)ver-changing な まちのコミュニティ

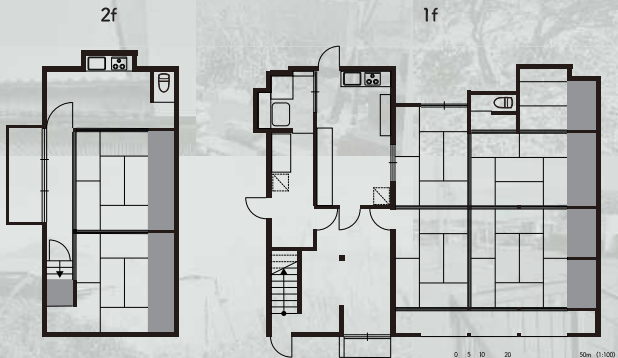
I got you!!
みんなが集い
たいくなる
が〜ちゅよかとこ

額埴町は少子高齢化が進む中山間地域。
明治～昭和は人々が集まる石垣商店街として賑わっていた。
250店舗あった商店も現在では8店舗。
人口は70年で約1万人にまで減り、「空き家」は増えた。

それでもまた今日が始まる。

地域の小さな医院が、地元の人たちで賑わっている。
そこにはコミュニティが息づいて、日常生活の一部とな
っている。用事があるわけではないが何となく、人がいる
場所を求めているのだろう。
空き家を中心として、人が集がり、地域が繋がり、
居場所を求めた人々が集り、そんな場所を提案したい。

平面図（改修前）



週に一度の移動販売

移動販売車が来るまでの間、
ご近所さんと話を待って。



グランドゴルフ

週に3日、グランドゴルフのため
近所の広場に集まる。



井戸端会議

病院へ行くところだったのか、
散歩の途中で会ったのか、
石垣に腰掛けてお茶を一杯。



人も建物もちも 成長し続ける

「顔」が多くあることで閉じない
コミュニティの形成ができる



地域に開かれた 賑わいの施設

地域の人々の意見を取り入れ、
観光客中心の居場所にならない



宿泊型複合施設

飲食店
イベントスペース
ワーキングスペース



宿泊者 地域住民

